

経済
(府政・市政同時)

平成27年 9月 17日

公益財団法人
京都文化交流コンベンションビューロー
TEL:075-212-4140 <http://meetkyoto.jp/>

平成27年度における大規模国際会議の京都誘致状況について

昨年度の9月現在では、1,000名以下の会議が複数決定しておりましたが、本年度は現時点で2,000名以上の国際会議が既に5件決定するなど、京都への誘致が好調に推移しておりますので、下記の通り、お知らせいたします。

8月下旬に、大型の国際会議である国際アルツハイマー病協会国際会議の京都開催が決定したところですが、続いて先週9月6日に外国人参加者数が1,800名という、第5回国際組織工学・再生医療学世界会議の2018年開催が決定し、世界博物館大会と合わせ、京都での大規模国際会議の開催決定が相次いでいます。

本年6月に、参加者数2,500名以上の、文化面での大きな波及効果が期待できる世界博物館大会(ICOM2019)の開催が決定し、また国際アルツハイマー病協会国際会議は参加者数が4,000名、そして第5回国際組織工学・再生医療学世界会議は外国人参加者数が1,800名と、大変特色のある3つの国際会議の京都誘致に成功いたしました。これらの誘致に当たっては、日本政府観光局(JNTO)、京都府、京都市、国立京都国際会館等との積極的な連携や、京都市助成金制度の拡充、海外MICE専門見本市への出展、ユニークビューの新規開拓等に努めてきたことが大きな開催決定要因と考えています。

国際会議の開催は、学術・研究の発展、ネットワークの場になるとともに、都市格の向上、入洛客の増加など、観光面への大きなメリットがあり、当ビューローといたしましても、京都へのMICE誘致に、引き続き全力で努めてまいります。

第5回国際組織工学・再生医療学世界会議

Tissue Engineering International & Regenerative Medicine Society World Congress 2018

会期	平成30年9月4日～9月7日		
会場	国立京都国際会館		
参加予定人数(うち外国人)	2,500名(1,800名)	参加予定国数	30カ国
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・組織工学と再生医療分野の国際学会であり、3年に1度、欧州・アメリカ・アジア太平洋の地域ごとの学会が集まる世界会議。基礎から応用まで多岐にわたる発表がされる、同分野今後の発展を担う会議である。 ・9月8日にボストンで開催された国際組織工学・再生医療世界会議総会において、2018年大会の京都開催が正式決定。 ・充実した内容の立候補書類、プレゼンテーション映像等が高く評価された。 ・世界の再生医療の最先端を走る京都大学再生医科学研究所を中心に、日本政府観光局(JNTO)、京都府、京都市、KCVB、会議運営会社等が協力し、誘致活動を展開した。 		

2017年国際アルツハイマー病協会国際会議 Annual Conference of Alzheimer's Disease International 2017			
会期	平成29年4月27日～4月29日		
会場	国立京都国際会館		
参加予定人数(うち外国人)	4,000名(800名)	参加予定国数	60カ国
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・国際アルツハイマー病協会は、アルツハイマー病についての様々な意見・情報を交換する場として国際会議を行っており、世界アルツハイマーデーを制定するなど、世界に向けて情報発信・啓蒙活動を行っている。 ・8月26日にロンドンで開催された国際アルツハイマー病協会理事会において、2017年大会の京都開催が正式決定。 ・国内受入団体である公益社団法人認知症の人と家族の会を中心に、日本政府観光局(JNTO)や京都府、京都市、KCVB等が協力し、誘致活動を展開。 ・京都での開催は2004年大会以来13年ぶりとなる。 ・KCVBでは7月10日～12日に行われた国際本部の視察受入、大規模コンベンション開催支援助成金制度等を通じて誘致活動を支援した。 		

第25回 世界博物館大会 ICOM 2019 (International Council of Museums)			
会期	平成31年9月1日～9月7日		
会場	国立京都国際会館		
参加予定人数(うち外国人)	2,500名(2,000名)	参加予定国数	117カ国
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ICOMには、世界137の国および地域から、博物館の専門職員約3万名が会員として参加しており、博物館職員の為の職業倫理規程の制定、自然災害や武力紛争で被災した博物館の情報収集などを行っているほか、専門分野別に組織された約30の国際委員会があり、それぞれに国際会議や研究集会を実施している。 ・6月3日に、パリのUNESCO本部で開催された、諮問委員会において、投票によって、京都での開催が決定。 ・主催者であるICOM日本委員会は、早い段階から文部科学省、文化庁、観光庁、日本政府観光局(JNTO)、京都府、京都市、KCVB、国立京都国際会館等の関係者とALL JAPAN体制を作り上げ、チーム一丸となって国外でのロビイング、PR活動等、誘致活動を行った。 ・日本では初開催となる。 		

第19回国際動脈硬化学会議
The 19th International Symposium on Atherosclerosis

会期	平成33年4月22日～4月25日		
会場	京都市勧業館みやこめっせ・ロームシアター京都		
参加予定人数(うち外国人)	3,000名(2,000名)	参加予定国数	100カ国

第17回国際婦人科腫瘍会議
The 17th Biennial Meeting of International Gynecologic Cancer Society

会期	平成30年11月30日～12月3日		
会場	国立京都国際会館		
参加予定人数(うち外国人)	2,000名(1,000名)	参加予定国数	37カ国

【その他、直近で開催が決定した会議】

第23回国際海運経済学会
International Association of Maritime Economists Conference 2017

会期	平成29年6月27日～6月30日		
会場	ホテルグランヴィア京都		
参加予定人数(うち外国人)	200名(180名)	参加予定国数	45カ国
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・同学会は、オランダに本拠地を置く、開運・港湾・海事に関する学会。500名を超える個人会員、20社の団体会員によって構成されている。 ・8月24日にマレーシアのクアラルンプールで開催された国際海運経済学会の総会・理事会にて2017年大会の京都開催が正式決定。 ・日本は国ごとの会員数で最も多い会員が在籍していること、会議実行組織体制中に、十分に確立された学術機関が数多く組み込まれていることが高く評価された。 ・国内関連機関・大学や自治体が協力し、万全の態勢で誘致活動を展開した。 ・参加予定者200名中180名が海外からの参加と、京都市で開催される会議の特徴である高い外国人参加比率が期待される会議である。 		

【お問い合わせ先】

国際観光コンベンション部 MICE課 松井／新名
TEL: 075-212-4140